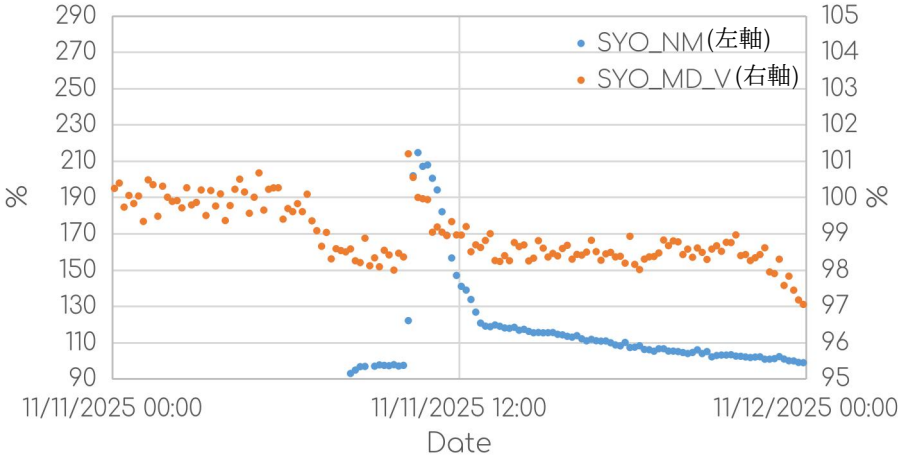


令和 7 年度（2025） 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：乗鞍岳におけるミューオン強度の精密観測 英文：Space weather observation using muon hodoscope at Mt. Norikura	
研究代表者 加藤千尋(信州大学) 参加研究者 宗像一起(信州大学) 林 優希(信州大学) 三石 翔(信州大学) 小林峻輔(信州大学) 黄伸一(信州大学) 宮下直子(信州大学)	
研究成果概要 本年度は乗鞍観測所の改修工事が行われたため、乗鞍での観測は停止していた。乗鞍岳と同様、厳環境下での宇宙線観測実験となる昭和基地での観測は安定して継続しており、2025 年中に 3 件の宇宙天気現象を観測することができた。うち 1 件(2025 年 11 月)のイベントは GLE であり、昭和基地 NM 及びミューオン検出器での観測が確認された。昭和基地を含むミューオンの観測ネットワークである GMDN においては、昭和基地とブラジル SSO 観測所の 2 箇所でこの GLE が観測された。 	
整理番号2025d-D-01	